



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月30日

上場会社名 株式会社小糸製作所 上場取引所 東  
 コード番号 7276 URL <http://www.koito.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大嶽 昌宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 山本 英男 TEL (03) 3443-7111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	422,970	24.4	29,599	18.5	31,393	22.5	10,924	△ 11.0
25年3月期第3四半期	339,970	13.8	24,977	40.7	25,622	49.8	12,279	62.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 30,908百万円 (44.3%) 25年3月期第3四半期 21,417百万円 (656.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第3四半期	67	98	—	—
25年3月期第3四半期	76	41	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
26年3月期第3四半期	476,906		243,356		44.0		1,305	36
25年3月期	418,087		218,131		45.4		1,180	61

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 209,763百万円 25年3月期 189,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10 00	—	12 00	22 00
26年3月期	—	12 00	—		
26年3月期(予想)				—	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	587,000	24.1	44,000	16.8	46,000	15.0	19,000	14.3	118	24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	160,789,436株	25年3月期	160,789,436株
26年3月期3Q	94,893株	25年3月期	91,522株
26年3月期3Q	160,696,543株	25年3月期3Q	160,698,168株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

(参考) 平成26年3月期の個別業績予想 (平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	244,000	6.0	16,000	△ 9.1	27,000	7.4	12,000	7.3	74	68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済情勢は、景気刺激策や円高是正、株価上昇等に伴い、輸出産業を主体に企業収益の改善が見られ、緩やかながら回復基調で推移いたしました。世界においては、依然として欧州債務問題、中東情勢不安等を抱えておりますが、米国経済の回復、新興国の需要拡大などにより、堅調に推移いたしました。

自動車産業におきましては、国内自動車生産は、期前半が前期の震災復興需要やエコカー補助金等の影響により減産となったものの、9月以降は消費増税前の需要等もあり増産に転じ、累計でも前年同期に比べ増加となりました。海外では、欧州が経済停滞により横這いとなるなか、北米や、中国、インドネシア等新興国での需要拡大により、世界の自動車生産台数は前年同期に比べ増加いたしました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は、主力の自動車照明関連事業が増収となり、前年同期比24.4%増の4,229億円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

#### 〔日本〕

自動車生産は、期前半が前期の震災復興需要やエコカー補助金等の影響により減産となったものの、9月以降は消費増税前の需要等もあり増産となったことから、売上高は前年同期比3.6%増の1,962億円となりました。

#### 〔北米〕

自動車需要の回復に伴う日本車の生産増加や、現地自動車メーカー向けの受注拡大等により、売上高は前年同期比51.0%増の666億円となりました。

#### 〔中国〕

自動車需要が増加するなか、現地自動車メーカー向けの受注拡大等により、売上高は前年同期比55.7%増の1,062億円となりました。

#### 〔アジア〕

タイではシェアアップ、受注拡大等により売上高は増加しており、インドネシアでも二輪車・四輪車生産が順調に推移し、売上高は前年同期比39.8%増の416億円となりました。

#### 〔欧州〕

欧州経済が依然停滞するなか、域内自動車販売が若干持ち直したことで、及び為替換算影響等により、売上高は前年同期比45.3%増の121億円となりました。

利益につきましては、国内が消費増税前の需要等で増収となり、北米・中国・アジアにおいても自動車増産や海外生産工場の稼働が寄与するなど増収となったことから、営業利益は前年同期比18.5%増の295億円、経常利益は前年同期比22.5%増の313億円となりました。四半期純利益は独禁法関連損失の特別損失計上等に伴い、前年同期比11.0%減の109億円となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### － 1. 資産、負債、純資産に関する分析

当第3四半期末の資産の残高は、現金及び預金の増等による流動資産の増、有形固定資産の増、投資有価証券の増等により、前期末に比べ588億円増加の4,769億円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金の増、借入金の増等により、前期末に比べ335億円増加の2,335億円となりました。

純資産の残高は、四半期純利益により利益剰余金が増加したのに加え、円安、株価上昇等に伴うその他の包括利益累計額の増加もあり、前期末に比べ252億円増加の2,433億円となりました。

#### － 2. キャッシュ・フローに関する分析

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益261億円、減価償却費157億円を主体に472億円となり、法人税等を支払った結果、273億円の資金を確保いたしました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、海外関係会社の新工場建設など設備投資253億円等を実施した結果、285億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入れによる資金調達118億円、配当金等の支払い66億円などを実施した結果、61億円の収入となりました。

以上により、当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ61億円増加の281億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期の業績予想につきましては、売上高は、国内が消費税増税前の需要増が見込まれ、海外では北米・中国等新興国を主体に自動車増産が見込まれることから、前期比増収の予想であります。

利益につきましては、米国・中国・タイ・インドネシア等の海外新工場の稼働が寄与し、各利益ともに前期比増益の見通しであります。

なお、平成25年10月29日の第2四半期決算短信にて公表いたしました平成26年3月期通期の業績予想値(連結・個別)につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、予想値を修正しております。

平成26年3月期通期(平成25年4月1日～平成26年3月31日) 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 565,000	百万円 40,000	百万円 41,500	百万円 23,000	円 銭 143.13
今回予想(B)	587,000	44,000	46,000	19,000	118.24
増減額(B-A)	22,000	4,000	4,500	△4,000	—
増減率(%)	3.9	10.0	10.8	△17.4	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	472,843	37,668	40,007	16,625	103.46

(参考) 平成26年3月期 通期 個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 237,000	百万円 13,500	百万円 24,000	百万円 16,000	円 銭 99.57
今回予想(B)	244,000	16,000	27,000	12,000	74.68
増減額(B-A)	7,000	2,500	3,000	△4,000	—
増減率(%)	3.0	18.5	12.5	△25.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	230,263	17,611	25,130	11,184	69.60

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,485	96,106
受取手形及び売掛金	90,299	91,292
電子記録債権	6,820	5,889
有価証券	778	1,226
たな卸資産	39,540	53,415
繰延税金資産	3,370	3,391
未収入金	15,450	15,250
その他	18,440	29,542
貸倒引当金	△12,846	△13,097
流動資産合計	238,338	283,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,059	35,187
機械装置及び運搬具（純額）	30,570	39,934
工具、器具及び備品（純額）	9,786	13,372
土地	13,938	14,156
建設仮勘定	12,837	11,577
有形固定資産合計	99,193	114,229
無形固定資産	981	825
投資その他の資産		
投資有価証券	71,658	75,479
長期貸付金	56	29
繰延税金資産	5,882	1,901
その他	2,141	1,574
貸倒引当金	△165	△150
投資その他の資産合計	79,574	78,834
固定資産合計	179,749	193,889
資産合計	418,087	476,906

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,495	104,278
短期借入金	27,297	41,349
未払費用	18,663	21,110
未払法人税等	7,582	4,280
賞与引当金	4,408	4,155
製品保証引当金	1,800	1,800
課徴金引当金	3,428	—
その他	6,957	15,371
流動負債合計	156,633	192,346
固定負債		
長期借入金	2,800	3,341
繰延税金負債	—	656
退職給付引当金	30,120	30,865
役員退職慰労引当金	293	327
損害賠償引当金	7,960	4,098
環境対策引当金	253	243
その他	1,894	1,671
固定負債合計	43,322	41,204
負債合計	199,956	233,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,270	14,270
資本剰余金	17,108	17,108
利益剰余金	140,588	147,656
自己株式	△78	△84
株主資本合計	171,889	178,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,297	20,639
為替換算調整勘定	4,534	10,172
その他の包括利益累計額合計	17,831	30,812
少数株主持分	28,410	33,592
純資産合計	218,131	243,356
負債純資産合計	418,087	476,906



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	339,970	422,970
売上原価	288,069	360,467
売上総利益	51,900	62,503
販売費及び一般管理費	26,923	32,903
営業利益	24,977	29,599
営業外収益		
受取利息	378	1,109
受取配当金	495	753
持分法による投資利益	2	6
為替差益	247	130
その他	1,190	858
営業外収益合計	2,313	2,858
営業外費用		
支払利息	423	588
航空事業安全対策費	321	381
その他	923	94
営業外費用合計	1,668	1,064
経常利益	25,622	31,393
特別利益		
投資有価証券売却益	757	985
固定資産売却益	6	10
その他	1	5
特別利益合計	765	1,001
特別損失		
独禁法関連損失	—	5,965
固定資産除売却損	205	260
たな卸資産廃棄損	7	11
投資有価証券評価損	3,031	—
特別退職金	781	—
たな卸資産評価損	18	—
その他	—	7
特別損失合計	4,044	6,244
税金等調整前四半期純利益	22,343	26,150
法人税、住民税及び事業税	9,501	10,428
法人税等調整額	△1,465	137
法人税等合計	8,036	10,566
少数株主損益調整前四半期純利益	14,307	15,583
少数株主利益	2,027	4,659
四半期純利益	12,279	10,924

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主利益	2,027	4,659
少数株主損益調整前四半期純利益	14,307	15,583
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,435	7,398
為替換算調整勘定	3,674	7,925
その他の包括利益合計	7,110	15,324
四半期包括利益	21,417	30,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,262	23,905
少数株主に係る四半期包括利益	3,154	7,002

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	22,343	26,150
減価償却費	13,151	15,789
持分法による投資損益(△は益)	△2	△6
貸倒引当金の増減額(△は減少)	125	139
退職給付引当金の増減額(△は減少)	239	731
賞与引当金の増減額(△は減少)	△399	△250
受取利息及び受取配当金	△874	△1,863
支払利息	423	588
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△757	△983
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	3,031	—
有形固定資産売却損益(△は益)	199	249
独禁法関連損失	—	5,965
売上債権の増減額(△は増加)	19,104	6,349
たな卸資産の増減額(△は増加)	△147	△10,931
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△8,148	△9,393
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,691	11,606
未払費用の増減額(△は減少)	853	1,777
役員賞与の支給額	△317	—
その他	1,067	1,295
小計	45,200	47,212
利息及び配当金の受取額	874	1,863
利息の支払額	△423	△588
損害賠償金の支払額	△604	△3,861
課徴金の支払額	—	△3,428
法人税等の支払額	△9,615	△13,867
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,432	27,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△44,957	△52,025
定期預金の払戻による収入	32,039	38,331
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△12	△13
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	1,403	9,211
有形固定資産の取得による支出	△19,591	△25,360
有形固定資産の売却・除却による収支(△は支出)	△10	58
貸付けによる支出	△11	△6
貸付金の回収による収入	48	35
その他	166	1,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,925	△28,523

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,393	11,236
長期借入れによる収入	1,342	1,396
長期借入金の返済による支出	△798	△740
自己株式の取得による支出	△0	△6
少数株主からの払込みによる収入	—	888
配当金の支払額	△3,084	△3,716
少数株主への配当金の支払額	△2,235	△2,955
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,168	6,103
現金及び現金同等物に係る換算差額	376	1,243
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,285	6,154
現金及び現金同等物の期首残高	23,217	21,992
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,932	28,146

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 及び 包括利益 計算書 計上額 (注3)
売上高								
外部顧客への売上高	189,427	44,136	68,231	29,828	8,345	339,970	—	339,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84,271	6	1,112	3,262	9,051	97,705	△97,705	—
計	273,699	44,143	69,344	33,090	17,397	437,675	△97,705	339,970
セグメント利益又は損失(△)	18,287	780	4,274	2,961	△868	25,435	△458	24,977

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△458百万円には、セグメント間取引消去2,533百万円及び配賦不能営業費△2,992百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関わる費用であります。

2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。

(1)北米 …米国

(2)アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド

(3)欧州 …ベルギー、英国、チェコ

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	中国	アジア	欧州	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 及び 包括利益 計算書 計上額 (注3)
売上高								
外部顧客への売上高	196,224	66,660	106,261	41,697	12,126	422,970	—	422,970
セグメント間の内部売上高 又は振替高	87,876	—	3,263	3,486	13,023	107,649	△107,649	—
計	284,101	66,660	109,524	45,183	25,150	530,620	△107,649	422,970
セグメント利益又は損失(△)	18,670	922	5,892	4,589	△175	29,900	△300	29,599

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△300百万円には、セグメント間取引消去2,770百万円及び配賦不能営業費用△3,071百万円が含まれております。配賦不能営業費用は、親会社本社の総務・経理部門等の管理部門に関わる費用であります。
2. 日本、中国以外の各セグメントに属する国又は地域の内訳は次の通りであります。
- (1)北米 …米国、メキシコ
  - (2)アジア…タイ、インドネシア、台湾、インド
  - (3)欧州 …ベルギー、英国、チェコ
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。